

お祭りでんでん館の情報や、八代市のお祭りや民俗芸能の魅力を発信！

Take
Free

DENDEN PRESS

2022

11

November

No.11

お祭りでんでん館

3年ぶりの開催

八代妙見祭

ちびっこ妙見祭



「妙見宮祭礼絵巻」-木馬-

お祭りでんでん館 2階 お宝ギャラリーにて展示中 11/27 (日) まで



約 200 年前の妙見祭の様子を描いた「妙見宮祭礼絵巻」の中から木馬の部分を紹介するぞよ。

この絵巻は、平成 19 年(2007)、妙見祭の国指定に向けて行われた調査の過程で見つかったんじや。絵巻を調べてみると、松井家のお抱え絵師の甲斐良郷(文政 12 年没・1829)が描いたものと分かったんじやよ。実はこの絵巻の下絵が八代神社にあったんじやが、完成品の所在は不明じゃった。それが見つかったというんじやから関係者は喜びに沸いたんじや。しかし、当時は京都の古物商のところにあり、海外向けの販売カタログに掲載される予定じゃった。

その後どうなったか知りたいかな？絵巻は、八代神社の呼びかけで集まった沢山の人からの寄付で平成 20 年 4 月、無事里帰りしたんじや。6 月には一般公開され、2 日間で 1000 人以上が見学に訪れたというよ。

絵巻は全長 40 メートルで、約 600 人が描かれておる。木馬や笠鉦など出し物が詳細に描かれており、資料的な価値も高いんじや。八代の人たちの思いの詰まった絵巻をぜひ見に来てくれたまえ。



④ 現在の木馬

木馬は、造り物の馬の胴の部分に子どもが入り、乗馬しているように見せるものじゃよ。お祭りでんでん館で展示中 (~12/18) じゃ!



いよいよ3年ぶりの妙見祭に向けて本格的にお祭りムードが市内に漂ってきました。11月6日(日)にはちびっこ妙見祭も3年ぶりに開催されます。ちびっこ行列だけでなく、出し物の体験ができる体験教室、同時開催イベントの「でんでんステージ2022」が開催されます。でんでんステージでは、鏡町から「碓原子ども会おざや名所」、東陽町から「坂より上棒踊り」が公演されます。碓原子ども会おざや名所は、千丁町・鏡町で伝えられる「大鞘節」を鏡町碓原地区の小学生が保存伝承しています。坂より上棒踊りは、東陽町坂より上地区で伝承されている棒踊りで、平家の落人から習ったものと伝えられています。息を合わせ棒を打ち合う姿は必見です。

妙見祭のメインは11月23日の「お上り」ですが、妙見祭は1か月にわたっていろいろな行事が行われています。11月1日の注連卸では、前年に納めていた獅子頭を出して、神様のために獅子舞を舞います。市内にも、妙見祭の提灯が飾られ、一気にお祭りムードに。お祭りでんでん館にも大きな提灯を飾ります。午後10時頃まで点灯していますので、ぜひご覧ください。



④ お祭りでんでん館 提灯点灯11月1日から

3年ぶりの開催！ 八代妙見祭・ちびっこ妙見祭



11/22 (火) 「御夜」お祭りでんでん館 夜間特別開館!

開館時間: 17時~21時 (最終入館は20時半まで) ※昼間も開館しています

11/23は八代妙見祭ですが、前日の11/22の前夜祭「御夜」をご存知でしょうか。笠鉦など祭りの出し物が本町アーケードに一齐に展示され、間近でゆっくり見ることができます。今年、大正・昭和時代の妙見祭の様子を撮影した写真展示「八代妙見祭 昔なつかし写真展」や、塩屋八幡宮にてプロジェクションマッピングと秀岳

館高校雅太鼓の演奏もお楽しみいただけます。この御夜の間、お祭りでんでん館も特別に夜間開館します。お祭りでんでん館から本町アーケードまで、徒歩約10分です。アーケードへ車で向かわれる方は、お祭りでんでん館に駐車できます。当館にもぜひお立ち寄りください。



御夜実行委員会 発行チラシ

お祭りでんでん館(八代市民俗伝統芸能伝承館) 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1番47号
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp

10月からインターネットで会議室の予約ができるようになりました!

